

会議録

会議の名称	令和7年度 第4回加西市総合政策審議会
開催日時	令和7年9月25日（木）午後2時00分～4時20分
開催場所	加西市役所 5階 大会議室
議長の氏名（会長 和田 真理子） 出席及び欠席委員の氏名 ＜出席委員＞ ・荒木 努 ・大野 聖佳 ・岡 信義 ・岡田 美香 ・小川 仁郎 ・杉本 昇平 ・谷勝 公代 ・辻 さやか ・東根 光児 ・中野 重美 ・濱本 泰秀 ・藤井 良子 ・和田 真理子 ＜欠席委員＞ ・樋口 真史	
傍聴者の人数 一般：2名 報道機関：なし	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・政策部長 高見 昭紀 ・政策部政策課長 柿本 尚一 ・政策部政策課課長補佐 高橋 知弘 ・政策部政策課係長 谷口 成俊 ・政策部政策課主任 香川 理宇 ・政策部政策課主事 別名 柁哉 ・政策部政策課主事 三宅 里彩	
1 議事 （1）実施計画における評価・検証結果への対応について （2）後期基本計画の策定における審議会の進行等要領について （3）後期基本計画の施策目標等における審議について 2 会議資料 会議次第、出席者名簿、配席図、 資料①～④、参考資料①～④ 3 会議の経過 ⇒別紙「第4回加西市総合政策審議会の経過」のとおり	

(別紙) 第4回加西市総合政策審議会の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
会長	(開会) 1 会長あいさつ 実りの秋へと風景が変わってきた今日この頃、加西市で暑さに強いお米の出荷という画期的な取組を耳にしたところである。本日は、夏の間に皆様に熱心にご議論いただいた政策評価のまとめに続き、新たな議題として後期基本計画の審議に入っていく、内容が非常に盛りだくさんの会議となる。今回もぜひ活発なご議論のうへ、貴重なご意見をお聞かせいただきたい。本日もどうぞよろしくお願いする。 2 議事 (1) 実施計画における評価・検証結果への対応について —事務局より説明(資料1・2)—
副会長	➤ 「庁内で開催されるすべての会議数の把握は困難である」との表記があるが、KPIとして設定するのであれば、分母（庁内での会議開催数）を把握しなければ、目標設定が適切である、実績に対する評価は難しいと考えている。AI議事録担当課が把握困難なだけであり、実際は把握することが可能ではないか。
事務局	➤ 既存のシステムではAI議事録担当課が分母を自動集計にて把握することは困難であるが、別途調査を行うことで把握することは可能であるため今後の対応として検討する。
委員	➤ 資料2の2ページについて、「通学バスの運行を評価する」との記載になっているが、費用が高額であることに対して指摘し、その他の手法があるのではないかとという趣旨で発言をしており、評価する話は出ていなかったと思うので訂正をお願いする。 4ページ目について、シルバー人材センターの会員数が年々減少しているところがあるが、審議会では、「シルバー人材センターの活動は草刈りだけのイメージがあるが、女性の方も活躍できるものである」など良い意見もいただいている。しかし、9月広報でのシルバー人材センターの会員募集の案内において「草刈り大歓迎」という表記があり、審議会での意見が届いていないように感じた。行政側がこの審議会での委員の意見、市民目線のアイデアを聞きたいという思いが本当にあるなら、担当課へ伝える際には、意見がどのような思いで出たかを踏まえてしっかりと伝えてもらいたい。
事務局 会長	➤ 資料2については訂正する。ご意見について承知した。 ➤ 委員から意見を聞くだけでなく、それを各施策に反映させるかが重要なことだと思うので、審議会に出た意見をしっかりと担当課へ伝えてもらうようお願いする。
副会長	➤ 3ページ目の狂言活動について、補助を実施していることはありがたいことであるが、総合計画で大きな方針を決めたことを実施しようとしているにもかかわらず、計画途中で市長が変わったことで方針が変わり、お茶を濁すようなことをしてもいいのかという問題提起をしたつもりである。狂言の事業に関わらず、総合計画のあり方として、計画の中に謳ったことは計画期間中にしっかりと実施してもらいたい。
事務局	➤ 「こども狂言塾」については、市を挙げて取り組んでいたものである。市政の方向転換をしたわけではなく、市民団体として活動が継続している中で一定の支援を行っており、行政として取組内容を評価シート内に書き込むのであればこのような表現となる。
委員	➤ 4ページ目の生活困窮支援について、「子ども食堂の利用者数は増加が続いている」とあるが、続いた先にどのように存在していくことを望んでいるのか。困窮という言葉をもやみに使ってよいのか、本当に困窮しているのか。また、子ども食堂ではフードドライブで集まった食材を使っておられるが、栄養価や栄養バランスはきちんと考えられ、栄養過多にならないように提供されているのか。フードドライブから提供される食材は、駄菓子など栄養バランスのあるものではなく、主食であるお米の提供は少ないと伺った。子ども食堂は設置されていないと困る人がいるために設置されているのか。
事務局	➤ 市内の子ども食堂は、困窮している人への支援目的だけではなく、家族と食事できない人の避難所的な意味合いでも実施されている。

委員	➤ 子ども食堂の役割を困窮者向けではなく、孤食者への支援の場や人とのつながりの場を求める人向けとしてよいほど、加西市民の生活にゆとりがあるのか。高齢者の方でも自分で食事の用意ができないため、お昼に買ったお弁当のおかずをそのまま夜のおかずにして過ごしている方もいらっしゃる。しっかりと現状を踏まえて、本当の困窮者に対してなのか、孤立者に対してなのか、実施する対象者を検討してもらいたい。
事務局	➤ 子ども食堂の利用者の中には、本当に生活に困窮されているご家庭の方々もいらっしゃいますが、多くの方にとっては地域の方々との交流の場として機能している。もちろん、困窮されている方が救われることも目的の1つであるが、地域との交流が一番の目的ではないかと考えている。
委員	➤ 現在実施されている子ども食堂では、遠方から来られる方が料理を担当しており、補助金の3分の2が旅費に充てられ、食材費は残りの3分の1とフードドライブで賄っていると耳にしたことがある。地域との交流の場を目指すのであれば、遠方から人を呼ぶのではなく、地域で料理を担う方々の協力を求めるなど、地域で共創していく形を選ぶべきではないかと考える。
会長 事務局	➤ 重要な指摘である。 ➤ ご意見として担当課へ共有しておく。
委員	➤ 7ページ目のお試し滞在制度について、お試し滞在補助を利用して宿泊した人が、その後実際に移住した実績がないと思われる。現状に合った危機感を持った書き方にした方がいいかと思う。
事務局	➤ 事実を踏まえ現状に即した内容に修正する（令和6年度においては補助を利用した人での移住実績はないことを確認）。 (2) 後期基本計画の策定における審議会の進行等要領について —事務局より説明(資料3・参考資料1)— ➤ 意見なし (3) 後期基本計画の施策目標等における審議について ※3部会での検討 ※3部会に分かれ実施した審議における意見及び対応については、第5回総合政策審議会の議事録と合わせて公表予定。 3 その他 ➤ 特になし
副会長	(閉会) <副会長あいさつ> この審議会が他の会議に比べて一番重く、さらに今年度は通常4回のところ6回開催される。本日の意見にもあったが、審議会で議論をして出た意見を各担当に伝えてもらう際、表面上の言葉ではなく、どのような思いでこのような発言をしたかということも含めて伝えてもらいたい。そうすることで我々委員側が尽力したことに対する価値が少しはあると思うので、よろしくお願いします。